

地域常設型ドローン遠隔運用サービス 「D-RIDER」、北海道 3 地域で地域実証体制を構築

泊村・古平町で密漁抑止、壮瞥町で鳥獣対策への活用 検証を推進

株式会社エスプランニング泊支店（本社：北海道札幌市、泊村支店：北海道古宇郡泊村大字泊村 66 番地 11、代表取締役：福西伸康）は、地域に配置した産業用ドローンを遠隔地の操縦者が運用する地域常設型ドローン遠隔運用サービス「D-RIDER」について、北海道古宇郡泊村、古平郡古平町、有珠郡壮瞥町の 3 地域で、地域企業や現場関係者と連携した実証体制の構築を進めます。

D-RIDER は、地域に産業用ドローンと現地運用体制を配置し、札幌などの遠隔拠点にいる操縦者と接続することで、沿岸監視、鳥獣確認、インフラ点検、災害時の初動確認などを支援するサービスです。

構想のきっかけの一つとなったのは、エスプランニング泊支店と泊村の漁業関係者との意見交換です。固定カメラを設置しにくい沿岸部や夜間帯において、ドローンによる巡回が密漁抑止や異常の初動確認に活用できるのではないかと意見を受け、地域に機体を配置して必要なときに遠隔運用する仕組みの検討を進めてきました。

古平町では、地域運営パートナーであるディアベリー株式会社（本社：北海道札幌市中央区南二条西 5 丁目 31-1、代表取締役社長：渡邊 洋平）が、地域の漁業関係者に対し、ドローンを活用した密漁抑止や沿岸巡回を提案しています。初期の意見交換を通じて現場ニーズを確認し、実証に必要な運用条件の整理を進めています。

壮瞥町では、株式会社旅と人（本社：北海道札幌市中央区南 2 西 7 丁目エムズスペース 2F、代表取締役：川合 将太）が地域運営パートナーとして参画します。同社のハンターでもある川合代表が有する狩猟・鳥獣対応の現場知見を活かし、サーマルカメラや望遠カメラによる大型野生動物の検出、危険度判定ロジック、作業区域周辺の索敵手順などを検証します。

各地域の役割は次のとおりです。

- ・ 泊村:株式会社エスプランニング泊支店が地域運営を担当
- ・ 古平町:ディアベリー株式会社が地域運営を担当
- ・ 壮瞥町:株式会社旅と人が地域運営を担当
- ・ 遠隔操縦・運行設計:株式会社エスプランニングが担当。操縦は国家資格を取得する予定の札幌本社の社員 10 名。

今後は、地域ごとの通信環境、離着陸地点、飛行経路、安全管理体制を確認し、沿岸監視と鳥獣対策に関する実証計画を具体化します。検証を通じて、遠隔操縦者、地域運営者、現場関係者の役割分担を整理し、他地域にも展開可能な標準運用手順の構築を目指します。

D-RIDER は、密漁者や野生動物の発見、あるいは現場の安全を保証するものではありません。ドローンで取得した映像、熱源情報、位置情報などを、漁業関係者、猟友会、自治体、警察、現場責任者などが判断するための補助情報として提供します。

株式会社エスプランニング泊支店は、地域を知る企業や現場関係者と連携し、人口減少地域でも継続できるドローン運用体制の確立を進めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社エスプランニング

代表取締役 福西 伸康

所在地:(本社)北海道札幌市中央区南 1 条東 2 丁目

(泊村支店)北海道古宇郡泊村大字泊村 66 番地 11

TEL:0135-67-7986(泊村支店)

E-mail: fukunishi@es-planning.jp

Web: <https://es-planning.jp/>

D-RIDER web: <https://drider.jp/>

D-RIDER コンセプト資料:

<https://drive.google.com/file/d/1c99aUOpqxq1nYAMhdJWpEiKIWeSYIHhEI>